

## 数値目標の達成状況

29年度の数値目標		29年度結果	過去のデータ(28年度)																																																																															
1	高い規範意識の維持 ・遅刻者7%以下	1学年7.9% 2学年14.2% 3学年14.7% 年間延14219回	年間延13884(16461)回																																																																															
	●学校評価アンケート(きまりやマナーの順守)〈地域の否定的評価〉20%未満	否定的評価47%、分からない20%	否定的評価20%、分からない17%																																																																															
2	学習習慣の確立 ー自主学习時間の伸長ー ●自主学习時間1日1時間以上70% 調査年間5回	定期考査1週間前の平日1日1時間以上(%)	定期考査1週間前の休日1日1時間以上(%)																																																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1学期6月</th> <th>1学期7月</th> <th>2学期10月</th> <th>2学期12月</th> <th>学期3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>55.5</td> <td>52.7</td> <td>52.9</td> <td>57.2</td> <td>39.4</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>59.1</td> <td>69.2</td> <td>66.5</td> <td>60.4</td> <td>61.6</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>51.9</td> <td>42.0</td> <td>40.5</td> <td>37.2</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> いま一步		1学期6月	1学期7月	2学期10月	2学期12月	学期3月	1年	55.5	52.7	52.9	57.2	39.4	2年	59.1	69.2	66.5	60.4	61.6	3年	51.9	42.0	40.5	37.2	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1学期6月</th> <th>1学期7月</th> <th>2学期10月</th> <th>2学期12月</th> <th>学期3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>58.4</td> <td>57.1</td> <td>54.6</td> <td>55.3</td> <td>40.6</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>64.4</td> <td>66.5</td> <td>69.6</td> <td>59.9</td> <td>64.2</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>61.3</td> <td>43.8</td> <td>47.4</td> <td>39.8</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		1学期6月	1学期7月	2学期10月	2学期12月	学期3月	1年	58.4	57.1	54.6	55.3	40.6	2年	64.4	66.5	69.6	59.9	64.2	3年	61.3	43.8	47.4	39.8	—																															
	1学期6月	1学期7月	2学期10月	2学期12月	学期3月																																																																													
1年	55.5	52.7	52.9	57.2	39.4																																																																													
2年	59.1	69.2	66.5	60.4	61.6																																																																													
3年	51.9	42.0	40.5	37.2	—																																																																													
	1学期6月	1学期7月	2学期10月	2学期12月	学期3月																																																																													
1年	58.4	57.1	54.6	55.3	40.6																																																																													
2年	64.4	66.5	69.6	59.9	64.2																																																																													
3年	61.3	43.8	47.4	39.8	—																																																																													
3	学力向上 ・学カスタンダード学力調査得点50%以上	第1回学力調査	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>数学</th> <th>英語</th> <th colspan="3">地理歴史・公民、理科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学年</td> <td>国総45.5</td> <td>数I50.2</td> <td>英I43.9</td> <td>世B55.0</td> <td>地A—</td> <td>生基43.2</td> </tr> <tr> <td>2学年</td> <td>国B54.7</td> <td>数II31.4</td> <td>英II29.6</td> <td>世B41.7</td> <td>倫理43.4</td> <td>物基60.7 化基71.8</td> </tr> <tr> <td>3学年</td> <td>国B56.0</td> <td></td> <td></td> <td>日B50.1</td> <td>政経48.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 第2回学力調査		国語	数学	英語	地理歴史・公民、理科			1学年	国総45.5	数I50.2	英I43.9	世B55.0	地A—	生基43.2	2学年	国B54.7	数II31.4	英II29.6	世B41.7	倫理43.4	物基60.7 化基71.8	3学年	国B56.0			日B50.1	政経48.8		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>数学</th> <th>英語</th> <th colspan="3">地理歴史・公民、理科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学年</td> <td>国総45.7</td> <td>数I61.2</td> <td>英I54.0</td> <td>世A50.0</td> <td>地理A62.7</td> <td>生基45.2</td> </tr> <tr> <td>2学年</td> <td>国B55.7</td> <td>数II61.3</td> <td>英II51.6</td> <td>世B89.4</td> <td>倫理59.5</td> <td>物基44.9 化基85.0</td> </tr> <tr> <td>3学年</td> <td>国—</td> <td></td> <td></td> <td>日B—</td> <td>政経—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 概ね達成(国語総合、物理基礎、生物基礎を除く。)		国語	数学	英語	地理歴史・公民、理科			1学年	国総45.7	数I61.2	英I54.0	世A50.0	地理A62.7	生基45.2	2学年	国B55.7	数II61.3	英II51.6	世B89.4	倫理59.5	物基44.9 化基85.0	3学年	国—			日B—	政経—																							
			国語	数学	英語	地理歴史・公民、理科																																																																												
1学年	国総45.5	数I50.2	英I43.9	世B55.0	地A—	生基43.2																																																																												
2学年	国B54.7	数II31.4	英II29.6	世B41.7	倫理43.4	物基60.7 化基71.8																																																																												
3学年	国B56.0			日B50.1	政経48.8																																																																													
	国語	数学	英語	地理歴史・公民、理科																																																																														
1学年	国総45.7	数I61.2	英I54.0	世A50.0	地理A62.7	生基45.2																																																																												
2学年	国B55.7	数II61.3	英II51.6	世B89.4	倫理59.5	物基44.9 化基85.0																																																																												
3学年	国—			日B—	政経—																																																																													
体力向上	平成29年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>握力 kg</th> <th>立幅 回</th> <th>長座体前屈 cm</th> <th>立ち幅とび 回</th> <th>投げ 秒</th> <th>20m走 回</th> <th>50m走 秒</th> <th>立幅とび cm</th> <th>投げ m</th> <th>体力合点 点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1学年</td> <td>男</td> <td>39.9</td> <td>28.5</td> <td>47.7</td> <td>55.7</td> <td></td> <td>68.8</td> <td>7.7</td> <td>228.8</td> <td>22.7</td> <td>48.5</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>27.3</td> <td>21.8</td> <td>44.5</td> <td>46.8</td> <td></td> <td>41.2</td> <td>9.0</td> <td>173.5</td> <td>13.2</td> <td>48.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2学年</td> <td>男</td> <td>41.4</td> <td>28.1</td> <td>47.7</td> <td>54.2</td> <td>509.0</td> <td>75.7</td> <td>7.5</td> <td>233.0</td> <td>24.2</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>26.3</td> <td>21.0</td> <td>44.7</td> <td>45.3</td> <td></td> <td>43.2</td> <td>9.3</td> <td>168.9</td> <td>12.7</td> <td>45.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3学年</td> <td>男</td> <td>44.9</td> <td>28.8</td> <td>41.9</td> <td>55.4</td> <td>430.0</td> <td>74.5</td> <td>7.5</td> <td>233.5</td> <td>26.2</td> <td>50.4</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>26.7</td> <td>20.2</td> <td>40.9</td> <td>44.8</td> <td></td> <td>40.3</td> <td>9.4</td> <td>169.4</td> <td>13.3</td> <td>45.1</td> </tr> </tbody> </table> 都平均との比較 握力(全学年男女)、長座体前屈(1、2学年男子)、立ち幅とび(1学年男女、2、3学年男子)、ハンドボール投げ(3学年男子)は都平均を上回った。		握力 kg	立幅 回	長座体前屈 cm	立ち幅とび 回	投げ 秒	20m走 回	50m走 秒	立幅とび cm	投げ m	体力合点 点	1学年	男	39.9	28.5	47.7	55.7		68.8	7.7	228.8	22.7	48.5	女	27.3	21.8	44.5	46.8		41.2	9.0	173.5	13.2	48.3	2学年	男	41.4	28.1	47.7	54.2	509.0	75.7	7.5	233.0	24.2	50.0	女	26.3	21.0	44.7	45.3		43.2	9.3	168.9	12.7	45.8	3学年	男	44.9	28.8	41.9	55.4	430.0	74.5	7.5	233.5	26.2	50.4	女	26.7	20.2	40.9	44.8		40.3	9.4	169.4	13.3	45.1
	握力 kg	立幅 回	長座体前屈 cm	立ち幅とび 回	投げ 秒	20m走 回	50m走 秒	立幅とび cm	投げ m	体力合点 点																																																																								
1学年	男	39.9	28.5	47.7	55.7		68.8	7.7	228.8	22.7	48.5																																																																							
	女	27.3	21.8	44.5	46.8		41.2	9.0	173.5	13.2	48.3																																																																							
2学年	男	41.4	28.1	47.7	54.2	509.0	75.7	7.5	233.0	24.2	50.0																																																																							
	女	26.3	21.0	44.7	45.3		43.2	9.3	168.9	12.7	45.8																																																																							
3学年	男	44.9	28.8	41.9	55.4	430.0	74.5	7.5	233.5	26.2	50.4																																																																							
	女	26.7	20.2	40.9	44.8		40.3	9.4	169.4	13.3	45.1																																																																							
●生徒による授業評価(肯定的評価)65%	1学年71% 達成 2学年58% 3学年70% 達成	1学年51% 2学年63% 3学年48%																																																																																

	・長期休業日中の講習 延300時間以上 参加延1100名	夏期休業日 35講座427時間 延960名 冬期休業日 1講座10時間 延12名 いま一步	53講座 延1100名												
	・土曜講習参加者 各学年17回 参加延1000名	1学年9回延558名 2学年5回延11名 3学年25回延120名	2、3学年各17回延357名												
	・土曜学習室 15回参加延80名以上	14回80名 達成	22回延66名												
	・本校図書館の貸出冊数3,300冊以上	2,805冊	2,172冊												
	・不読率 22.3%未満	21.5% 達成	39.6%(27年度)												
	・英検、漢検の準2級以上合格者数25名以上	英検13名、漢検9名、計22名	英検10名、漢検13名												
	・語彙・読解力検定等奨励	30年度年間行事計画 6月3学年、11月1、2学年	新規												
4	基礎的・汎用的能力の育成 ・自習室開室135日以上	授業日18時30分まで会議室を自習室として開室 157日 達成	—												
	・拡大学年會 各学期1回	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>1学年</td> <td>2学年</td> <td>3学年</td> </tr> <tr> <td>1学期</td> <td colspan="3">実施せず</td> </tr> <tr> <td>2学期</td> <td>11/9(木)</td> <td>11/10(金)</td> <td>11/14(火)</td> </tr> </table> 30年度年間行事計画 6、11月各学年実施。		1学年	2学年	3学年	1学期	実施せず			2学期	11/9(木)	11/10(金)	11/14(火)	新規
	1学年	2学年	3学年												
1学期	実施せず														
2学期	11/9(木)	11/10(金)	11/14(火)												
5	自治意識、帰属意識の向上 ・部活動加入率70%	67.1%	11月63%												
	部活動加入率 ●1学年生徒80%	79.1% ほぼ達成	—												
	・部活動定着率80%以上	1学年75%	—												
	・体罰ゼロ	体罰ゼロ 達成	体罰ゼロ												
6	キャリア教育 ・同窓会との連携	キャリア講演会 3学年4/12(水) 1回3、4限 キャリア講座 2学年6/21(水)10/4(水)10/18(水) 3回5、6限 OBOG 課外授業 1学年12/21(木) 1回													
	・自立支援教育プログラムの活用	1学年NPO法人鴻鶴塾との連携 9/8(金)5、6限各2名、計4名(6名中)のお話を聞く。 2学年NPO法人NEWVERYとの連携 6/13(火)	1、2学年各1回												
7	生徒一人一人に応じた適切な進	41.8% 達成	37.9%												

	路指導 ●4年制大学進学率40%		
	●日東駒専以上 現役合格10名	12名 達成	9名
	・国公立大学1名合格	0	0
	・就職内定率100%	100% 達成	100%
	・進路未決定者10%未満	12.9%	14.3%
8	人権尊重教育推進校としての取組	・全校人権教育講演会 11/21(火)サンパール荒川「女性」「子供」の人権について考える 講師 東京都人権啓発センター専門員 坂井新二氏 林 勝一氏 田村鮎美氏 ・人権教育講座(学年別)	・講演ではなくワークショップ形式で実施 講師が生徒の考えを引き出し、深めた。 ・生徒が考え、感じたことをアウトプット。
9	人材育成 校内研修(講師招聘)1回実施	・生徒による授業評価アンケート集計結果分析報告 講師 教育実践研究オフィスF 鍋島史一氏 第1回10/13(金)、第2回2/7(水) 達成 ・人権学習会 12/20(水) 講師 東京都人権啓発センター専門員 坂井新二氏	新規
	研究授業・研究協議 各教科1回実施	・国語6回、地歴・公民3回、理科3回、保健体育2回、外国語(英語)10回、家庭1回 ・数学、芸術、情報 実施せず	新規
	〇〇大学入試問題研究及び生徒対象講習	・実施 達成	新規
	授業見学 年間4時間以上	(34名中)4時間以上 20名(58.8%) 1~3時間 7名(20.6%)	新規
	「この授業見よう」	2回実施 達成	新規実施
10	教育公務員 ・サービス事故防止研修4回 ・サービス事故への継続	サービス事故防止研修 4/3(月)7/12(水)12/6(水)3/14(水)4回 達成 サービス事故への継続	サービス事故防止研修4回 サービス事故への継続
11	募集・広報活動の充実 ・中学校訪問126校以上	119校	141校
	・塾訪問84塾以上	57塾	新規
	・中進対1.0倍以上	0.64倍	0.95倍
	●入学者選抜分割前期最終応募倍率1.3倍	0.96倍	1.26倍

	・入試対策講座 5教科2回	5教科2回 12/16(土)30名、1/13(土)16名 達成	新規
	・文化祭(一般公開)来校者数 1,300名以上	1,136名	1,274名
	・ホームページ更新 200回以上	202回 達成	160回
12	予算執行 経営参画	一般需用費センター執行の増加 53.4% 達成 予算の有効活用 自律経営推進予算全体執行率 98%超	48.5%
13	校舎改築 ・住民説明会 8 月予定	体育館解体工事開始前(平成30年度)実施に変更	住民説明会 28年度11月実施

1 今年度の取組と自己評価 自己評価基準:【A】十分に達成できた【B】概ね達成できた【C】あまり達成できなかった

(1)教育活動への取組 (2)重点目標への取組	自己評価																
1 組織的・学校経営の推進 【C】																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画調整会議 戦略検討</li> <li>・主幹会議 主幹教諭4名の連携・協力、学校改革牽引。</li> <li>・主幹教諭、主任教諭14名によるシムラゼメント</li> <li>・教職員の情報の共有化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画調整会議(42回) 学期ごとの振り返り等、PDC Aサイクルに基づくマネジメントシステム、戦略検討。</li> <li>・主幹会議(6回) 時間割に位置付けることができなかったことにより定例開催が難しかった。</li> <li>・教職員の情報の共有化 打合せ、臨時の会議を開催。</li> </ul>																
2 高い規範意識の維持 【C】																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「身に付けさせる規律・規範の全体計画」に基づいて、遅刻防止、身だしなみ指導の徹底を図る。</li> <li>・挨拶の励行、マナー尊重の精神の育成。</li> <li>・朝、昼休みの正門等における指導(授業時巡回)を全教員当番制で行う。</li> <li>・セーフティ教室、薬物乱用防止教室の充実(危険ドラッグ等)。</li> <li>・情報モラル教育の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導部を核として、遅刻防止指導を行った。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>10/17(火)</td> <td>11/14(火)</td> <td>2/21(水)</td> </tr> <tr> <td>1学年</td> <td>8名</td> <td>10名</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>2学年</td> <td>12名</td> <td>9名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>3学年</td> <td>6名</td> <td>10名</td> <td>—</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻0(ゼロ)デー新設</li> <li>・各学年、遅刻指導を行った。</li> <li>【数値目標1】1学年 クラスによっては達成、学年としては達成できなかった。</li> <li>2、3学年 それぞれ学年としての指導を行ったが、数値目標を大幅に超えてしまった。</li> <li>・挨拶 生徒会の役員が朝、正門に立って挨拶を行う。全体としては不十分。</li> <li>・交通安全 自転車の傘さし走行禁止(雨天時レインコート着用)指導。生徒・保護者への説明。</li> <li>・セーフティ教室 7/19(水)9:30~10:30 全学年 薬物乱用防止教室 荒川警察署生活安全課</li> <li>・交通安全教室 2/5(月)13:30~15:00 1学年 自転車シミュレータ 安全教室 株式会社大和田組</li> </ul>		10/17(火)	11/14(火)	2/21(水)	1学年	8名	10名	16名	2学年	12名	9名	19名	3学年	6名	10名	—
	10/17(火)	11/14(火)	2/21(水)														
1学年	8名	10名	16名														
2学年	12名	9名	19名														
3学年	6名	10名	—														
3 学習習慣の確立ー自主学習時間の伸長ー 【B】																	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と生活の時間の自己管理(記録)指導</li> <li>・定期的な自主学習時間調査</li> <li>・生徒による授業評価の実施及び結果分析年2回</li> <li>・教育課程の評価・検証・改善</li> <li>・授業改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習と生活の自己管理(記録)指導 30年度NOLTY スコラ手帳を導入。</li> <li>・自主学習時間調査 教務部主導で定期考査ごとに実施。集計、分析に時間がかかった。結果を生徒に還元。 【数値目標2】2学年は一定程度行っているが、1、3学年は指導の充実、改善を図る必要がある。</li> <li>・「生徒による授業評価」教育実践研究オフィスFの分析、校内研修実施により、授業改善につなげることができた。</li> <li>・教育課程の改善 30年度3学年自由選択科目11単位→6単位、必修選択科目に変更。</li> </ul>									
<p>4 学力向上、体力向上 【B】</p>										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力スタンダード作成及び組織的・効果的な指導</li> <li>・教科会(月2回)の充実、教科主任会(月1回)定例開催、充実。 【自主学習時間の伸長】</li> <li>・土曜講習、土曜学習室の充実</li> <li>・読書活動の推進、言語活動の充実—書評合戦等</li> <li>・ICT機器等を活用した効果的な教科指導の工夫</li> <li>・英語教育の改善・充実—JET、ALTの活用—</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育の推進 5つの資質の育成(全教科合計、年35単位時間)</li> <li>・主権者教育の推進(地歴・公民科等)</li> <li>・体力・運動能力の向上 体力テスト(6月)実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査の共通問題化</li> <li>・教科会 教科マネジメント充実。</li> <li>・教科主任会 月1回定例開催は実現できなかった。</li> <li>・学力スタンダード学力調査 【数値目標3】得点50%以上達成は第1回7科目/15科目、第2回10科目/13科目。第1回国、数、英(都の標準問題)、難。</li> <li>・土曜講習 全学年進学対策。</li> <li>・読書活動の推進 3/12(月)～15(木)1、2学年 司書と教科との連携により、図書館の活用を図る。</li> <li>・図書委員会、ビブリオ同好会 高校生書評合戦に向けた取組。</li> <li>【数値目標3】本校図書館貸出冊数伸長。</li> <li>・ICT機器の活用28.2%、途上。</li> <li>・JET、ALTの活用 一定程度図った。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="794 1272 1401 1507"> <tr> <td>次世代リーダー育成道場第5期生</td> <td>Bコース 29年8月～30年7月</td> <td>2学年生徒1名 カガ</td> </tr> <tr> <td>次世代リーダー育成道場6期生</td> <td>Aコース 30年1月～12月</td> <td>2学年生徒1名 ホストリア</td> </tr> <tr> <td>東京グローバルユースキャン</td> <td>Ⅱ期8/21(月)～26(土)</td> <td>1学年生徒1名</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリ・パラ教育 全教科で取り組むとともに、12/19(火)「オリンピック・パラリンピック伝道講座」講師 首都大学東京オープンエバシティ特任教授 舛本直文氏 3/14(水)「障害者スポーツの理解講座」講師 認定特定非営利活動法人トラックス上級障害者スポーツ指導員 吉澤昌好氏 などを実施した。</li> <li>・主権者教育 地歴・公民科の学習指導において実施するとともに、7/2(日)東京都議会議員選挙、10/22(日)衆議院議員選挙に向けて、3学年担任、部活動顧問等が投票に行くよう指導した。</li> <li>・体力テスト 【数値目標3】</li> </ul>	次世代リーダー育成道場第5期生	Bコース 29年8月～30年7月	2学年生徒1名 カガ	次世代リーダー育成道場6期生	Aコース 30年1月～12月	2学年生徒1名 ホストリア	東京グローバルユースキャン	Ⅱ期8/21(月)～26(土)	1学年生徒1名
次世代リーダー育成道場第5期生	Bコース 29年8月～30年7月	2学年生徒1名 カガ								
次世代リーダー育成道場6期生	Aコース 30年1月～12月	2学年生徒1名 ホストリア								
東京グローバルユースキャン	Ⅱ期8/21(月)～26(土)	1学年生徒1名								
<p>5 系統的なキャリア教育の推進 【A】</p>										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒情報の共有化</li> <li>・一人一人の生徒の学習状況把握(入学から卒業ま</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【数値目標4】拡大学年会新規開催により、生徒情報</li> </ul>									

<p>での推移データの整備・活用)ときめ細やかな対応。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上級学校説明会等への積極的参加、情報収集・活用。</li> <li>・ガイダンス、個別相談の充実。</li> <li>・同窓会(さつき会)との連携、講演会等の充実。</li> <li>・「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」の活用</li> </ul>	<p>の共有化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自習室の活用促進</li> <li>・FINE SYSTEMの活用 教員により大きな差。</li> <li>・上級学校説明会 進路指導部担当が一覧作成、周知。3学年、進路指導部が参加、情報収集、活用。</li> <li>・ガイダンス、個別相談 模擬面接等、多くの時間をかけてきめ細やかに行った。</li> <li>・【数値目標6】同窓会との連携、「自立支援教育プログラム」の活用</li> </ul>
<p>6 基礎的・汎用的能力の育成 【A】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームルーム活動、総合的な学習の時間等を通じて、在り方生き方を考えさせるとともに、「基礎的・汎用的能力」を身に付ける意義を繰り返し理解させる。</li> <li>・週末課題(1、2学年)</li> <li>・分野別指導、志望理由書作成指導、小論文指導(3学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・汎用的能力の育成 学年、担任を中心に取り組んだ。週末課題の提出状況は概ね良好。</li> <li>・志望理由書作成指導、小論文指導(3学年) 国語科、3学年、進路指導部等が懇切丁寧に個別対応・指導を行った。2学年も3学期に3学年0学期として志望理由書作成に向けて事前調査を行った。</li> </ul>
<p>7 生徒一人一人に応じた適切な進路指導 【A】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一志望の実現</li> <li>・進路情報の提供</li> <li>・望ましい勤労観・職業観の育成</li> <li>・インターンシップの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【数値目標7】ほぼ達成(国公立大学合格、進路未決定者を除く)。</li> <li>・理系数学 放課後講習、夏季・冬季休業日講習等に過去問演習指導。AO対策として小論文指導も行う。</li> <li>・「進路の手引き」内容等修正、30年度大幅改訂(予定)。生徒の自主的な活用につなげる。</li> <li>・インターンシップ 2学年19名3/14(水)～16(金)11社 株式会社ユニック(3)、介護老人保健施設しらさぎ(2)、東京ガスオールワンエナジー株式会社(2)、株式会社吉池(2)、有限会社ウイングチップ(2)、カジワラキッチンサプライ(2)、佐川急便東日本支社(2)、レインボータウンエフエム放送株式会社、株式会社Green Hills、株式会社ハウススポーツクラブ、笹乃雪</li> </ul>
<p>8 自治意識、帰属意識の向上 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動、生徒会活動及び学校行事の充実・振興</li> <li>・部活動推進と体力向上</li> <li>・体罰禁止・根絶</li> <li>・定期的な部活動調査(部員数、活動状況、活動の成果等)</li> <li>・地域行事への積極的参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【数値目標5】</li> <li>・部活動 主な成果 吹奏楽:第57回東京都高等学校吹奏楽コンクールA組金賞、第3回全国高校生レベルステージ吹奏楽コンクール優秀賞、第41回東京都高等学校吹奏楽連盟アンパルコンテストフルート四重奏金賞、全日本ポップス&amp;ジャズバンドグランプリ大会ミュージック賞。軽音楽部:あだちけいおんフェスタ ライオンズカップ 2017 優勝、東京都コンテスト決勝大会(夏)(秋)準グランプリ。軟式野球:春季東京都高等学校軟式野球大会ブロック予選B決勝進出。柔道部:東京都高等学校総合体育大会柔道競技大会第1支部予選会ベスト16。</li> <li>課題 加入率の更なる向上。</li> <li>・体罰ゼロ継続。</li> <li>・定期的な部活動調査は実施できなかった。</li> <li>・吹奏楽部 (地域との連携)第67回“社会を明る</li> </ul>

	くする運動”ハレト(9/30)、第28回にっぽり青空こどもまつり(11/3)、にっぽり春まつり(3/25)。
<b>9 健康・安全、社会貢献 【B】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(保健)健康づくりの推進 アレルギー疾患対策</li> <li>・(美化)校内・外の環境美化とリサイクル意識の育成</li> <li>・不登校・中途退学の防止</li> <li>・いじめの未然防止、早期発見・早期対応 「いじめ対策委員会」を核とした取組を行う。 アンケートを年間3回以上実施する。 教育相談体制の強化</li> <li>・防災教育の推進 「自助」「共助」の精神に基づいて適切に行動できるようにさせる。</li> <li>・奉仕体験活動の推進</li> <li>・PTA との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関する委員会1回開催。</li> <li>・食物アレルギー緊急時対応に係る研修(12/21)「エピペン」の使い方確認。</li> <li>・生活指導部、技能主事、環境委員により「ゴミの分別」確認、徹底。</li> <li>・いじめ対策委員会 いじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組み、成果を上げた。サポートチーム:荒川警察署スクールサポーター等と連携。</li> <li>・養護教諭と担任の連携による教育相談体制。</li> <li>・防災教育 避難訓練:第1回6/28(水)6限緊急地震速報に基づいた生徒の自主的な初動、第2回9/1(金)10:30頃 始業式後「緊急地震速報」、化学室から出火、校庭に避難、第3回12/22(金)8:45から「緊急地震速報」、調理室から出火、荒川消防署音無川出張所職員講評、1学年起震車体験、第4回3/16(金)荒川警察署警備課長講話、荒川消防署音無川出張所職員講話、広域避難場所・上野公園への避難。 宿泊防災訓練:6/23(金)24(土)1学年 応急担架訓練、AED 取扱い訓練、初期消火・D級ポンプ、防災クイズ、防災訓練講評(荒川消防署音無川出張所)、防災講話(人権委員会)。</li> <li>・「人間と社会」(2学年):1/17、24、31、2/7(水)5、6限 1・3組、2・6組、4・5組 4メニュー(救命入門コース(90分)、地域清掃、防災館見学、租税講座)実施。</li> </ul>
<b>10 計画的、組織的な人材育成 【A】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJT、校内研修の充実</li> <li>・教員の授業力の向上</li> <li>・明海大学との「教育連携に関する協定」締結校としての取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJT 教科、分掌、学年 意図的・計画的・組織的に実施。授業研究 研究協議の充実。</li> <li>・校内研修 【数値目標9】「生徒による授業評価アンケート集計結果分析報告」は授業改善に、「人権学習会」は生徒理解、生徒への関わり方に係る意識向上につながった。</li> <li>・授業見学 若手教員育成研修、東京教師道場部員による授業公開、研究開発委員会指導資料説明会公開授業等の活用 【数値目標9】教員の意識、取組に隔たりがある。課題 授業研究の充実。</li> <li>・明海大学との連携 教員研修「JSLの日本語指導 明海大学日本語指導講座」6/21(水)16:00~17:00 講師 明海大学外国語学部教授 木山三佳氏 JSL(Japanese as a Second Language)生徒、関わり方についての理解が深まった。</li> </ul>
<b>11 教員の使命感・倫理観、服務規律の遵守。 【B】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・服務規律の徹底</li> <li>・校内規定の整備</li> <li>・情報資産の管理の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【数値目標10】引き続き研修を行い、自覚を促す。</li> <li>・服務規律徹底、個人情報紛失防止の徹底。 「学力検査採点の誤り」ゼロの継続。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンデスクの励行 「4S」(整理・整頓・清掃・清潔)の推進 一部達成できていない。</li> <li>・教務部、生活指導部 「校内規定」見直し、整備。課題 内容の点検、充実。</li> </ul>																		
<b>12 募集・広報活動の充実 【B】</b>																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の特色のより一層の明確化</li> <li>・入学者選抜(分割後期募集、在京外国人生徒募集を含む。)の評価・検証及び改善</li> <li>・情報発信の工夫・改善(「学校案内」の刷新、ホームページの充実、適時適切な更新)。</li> <li>・家庭・地域等の本校に対する要望の把握、対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【数値目標 11】入試対策講座、ホームページの更新を除いて、達成できなかった。</li> <li>・中進対第1志望調査(男0.52、女0.76、計0.64)推薦(男1.41、女1.62、計1.51)、在京2.53、分割前期(男0.96、女0.97、計0.96)、分割後期(0.80)、第三次募集(0.20)、欠員8名を重く受け止める。</li> <li>・「学校案内」刷新、ホームページの適時適切な更新等好評。さらなる充実を図る。</li> <li>・学校説明会392名、学校見学309名、体験授業59名、個別相談会69名、臨時学校説明会24名、分割後期臨時学校説明会32名。</li> <li>・外部説明会11会場461名。</li> </ul>																		
<b>13 予算、施設・設備、接遇等 【A】</b>																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な予算執行と更なる経営参画</li> <li>・教育環境の更なる整備、充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【数値目標 12】達成 適正な予算執行をはじめ、経営参画型企画室を実現し、校長を補佐した。</li> <li>・施設・設備の定期点検はもとより、教育環境の整備、緊急対応を行った。早期の計画的な樹木剪定により茶毒蛾の発生を最小限に抑えた。積雪による屋根破損、水道管劣化による水漏れ補修等、迅速かつ適切に行った。</li> <li>・電話対応、接遇 本校の「顔」として申し分ない。</li> <li>・入学者選抜業務 出願から書類提出まで受検者ファーストで改善、充実。</li> </ul>																		
<b>14 教育環境の改善・充実 【B】</b>																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的な教育環境の改善、地域の期待に応える学校づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎改築に向けて、備蓄倉庫移転、体育館の用途廃止、体育館物品の運搬、保管契約準備を行った。</li> <li>・保健体育科の準備室を化学準備室に移動する。</li> </ul>																		
<b>15 地域連携 【B】</b>																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に開かれた学校づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設開放 35団体、延1089人利用(グラウンド10日313人、テニスコート23日301人、体育館17日177人、武道場10日298人)。</li> <li>・公開講座「ダンス(JAZZ、HIPHOP)」10/8(日)～11/26(日)、6回計15時間10名受講)</li> <li>・「盆踊りを踊ろう」－荒川音頭、荒川そして未来へ－東日暮里5丁目長寿会、東日暮里4丁目長寿会、東日暮里女性部会との連携、指導 2学年女子体育 6/27(火)10名、29(木)9名、30(金)11名。</li> </ul>																		
<b>16 ライフ・ワーク・バランス 【B】</b>																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な職務遂行</li> <li>・めり張りを付けた働き方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・超勤月30時間以上 (人)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>30～39</th> <th>40～49</th> <th>50～59</th> <th>60～69</th> <th>70～79</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	10月	4	0	2	1	0	11月	4	5	4	0	0
	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79														
10月	4	0	2	1	0														
11月	4	5	4	0	0														

	12月	10	3	5	0	1
	1月	5	2	3	2	1
	2月	3	6	2	2	0

## 2 次年度以降の課題と対応策

次年度以降の課題	対応策
規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活指導指針に基づく指導 とりわけ時間を守る／守らせる「遅刻0(ゼロ)週間」等生活指導部と学年の連携による指導強化。</li> <li>挨拶の充実・強化</li> <li>服装・身だしなみ指導 全教員による指導の徹底。制服改造厳禁の徹底(スカート丈を替えさせない)、化粧をさせない等。</li> <li>SNS竹台高校ルールの徹底</li> </ul>
学習時間の伸長	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規手帳導入、活用によるタイムマネジメントの徹底</li> <li>学習の仕方を学ばせる、週末課題、補習・講習実施、自習室の活用促進等。</li> <li>教務部 定期考査ごとの自主学習時間調査、迅速な結果提示。学年、教科による指導。</li> <li>全教員による継続的な取組 学習させる、課題は必ず提出させる等。</li> <li>教科会(月2回)、(教務部主導)教科主任会定例開催。</li> </ul>
学力向上 体力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力スタンダードに基づく教科マネジメントの徹底ー到達目標の明確化と達成状況の分析ー</li> <li>「アクティブ・ラーニング推進校」として、主体的・対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善。</li> <li>読書活動の推進、言語活動の充実。</li> <li>英語教育の改善・充実ーJET、ALTの活用等ー。</li> <li>土曜講習、長期休業日の講習等の充実。</li> <li>「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針に基づく指導</li> <li>スポーツ振興、体力向上、アクティブプラン to 2020 目標値達成を目指した指導。</li> </ul>
系統的なキャリア教育の推進 生徒一人一人に応じた適切な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導部 学年、教科との連携強化。</li> <li>学年 三者面談の実施、保護者との連携強化。</li> <li>不登校・中途退学防止 相談体制の強化。</li> <li>生徒一人一人の情報(学習・生活・進路希望等)の共有化 拡大学年會、成績処理ファイル、Classiの活用等。</li> <li>基礎的・汎用的能力の育成 読書活動の推進、言語活動の充実、語彙・読解力検定受検、小論文、志望理由書指導等。</li> <li>インターンシップ(2学年)</li> </ul>
部活動のより一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の充実・振興。</li> <li>部活動加入率向上、</li> <li>全校において体罰禁止、体罰根絶</li> <li>体力の更なる向上。</li> </ul>
健康・安全、社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの総合対策に基づいた対応 全校においていじめの未然防止、早期発見、早期対応。</li> <li>自殺対策に資する教育の推進</li> <li>校内美化 環境委員による点検・評価、取組のよいクラスを顕彰。</li> <li>交通安全指導 特に自転車の乗り方指導の徹底。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育の継続・充実 防災活動支援隊の活動の充実。被災地視察、被災地との交流等。</li> <li>・地域との連携の充実・強化 荒川区、東日暮里5丁目町会等との連携</li> </ul>
組織的な学校運営の強化・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画調整会議 分掌・学年を超え、学校改革の戦略を検討する。</li> <li>・主幹会議 方策の検討、企画調整会議に提案。主幹教諭4名の連携・協力体制構築、学校改革の牽引。</li> <li>・新学習指導要領に基づく教育課程編成、大学入学共通テストへの対応。</li> </ul>
募集・広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の充実(きめ細やかな指導)</li> <li>・全校体制の強化(夏季休業日中の学校案内、外部説明会参加、塾・中学校訪問)。</li> <li>・体験授業、入試対策講座、部活動体験、上級学校訪問対応等。</li> </ul>
教育環境の改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築委員会を核として新校舎建設への意見・要望等集約。</li> </ul>
計画的、組織的な人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJT、校内研修の充実</li> <li>・教員の授業力の向上 授業見学(校内外)、この授業を見よう等。</li> </ul>
ライフ・ワーク・バランス推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校における働き方改革推進プラン」に基づいた取組。</li> </ul>